



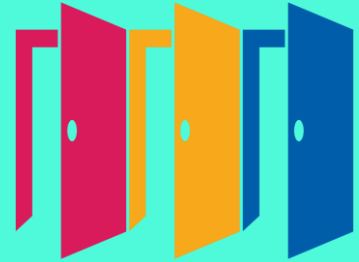
# Isehara Rotary Club

International Rotary District 2780<sup>th</sup>/Group#7

## 2020-2021 年度 第 2703 回例会

令和 3 年 5 月 26 日 (水) 晴れ

RI 会長／ホルガー・クナーク  
地区ガバナー／久保田 英男 (鎌倉 RC)  
会長／築城 忠生  
幹事／天野 耕一郎  
会報委員長／田村 貴寿



ロータリーは機会の扉を開く

### 会長挨拶



2020-2021 年度／築城 忠生会長

今年度も残すところあと1ヶ月となりました。例会の数も限られて来ましたが、より良い例会を目指して行きたいと思っています。今日は蔓延防止等重点措置の関係で、ハイブリッド例会ではなく、オンライン例会で開催させて頂きました。今日はゲストの伊勢原青年会議所の方々と米山奨学生の陸易君にオンラインで参加して頂いております。

予てから伊勢原のボーイスカウトやガールスカウトの子供達に道灌祭りのポリオ撲滅運動に参加してもらいたいと思っていました。しかし道灌祭りは中止となり、事業には至りませんでした。また私達と関係の深いダンスのクラブチームとも、もっと親睦を深め、より良い事業を進めて行きたいと年度当初から思っておりました。ロータリーにも地域社会共同体と言う言葉があります。正式にはRCCと言います。地域の人達と同じ方向を向いて事業を進めて行こうと言うことはとても大切なことだと思いました。社会の仕組みが大きく変わって行く中で、目的を同じにする人と提携して事業を進めて行こうとか、コラボレーションして何か新しいものを作って行こうということが今大切になっているのだと思います。これから若い人達ができること、得意とされていること、また私達年長者が得意とすることをお互いの役割を分かち合っ、地域社会に対してインパクトのある事業ができれば良いと思っています。来年度の田中エレクトは既に構想されているし、また一つの切り口としてロータリーの重点分野の7つ目の環境問題と言うテーマが掲げられています。まだ私達のクラブでは事業化することは出来ませんでした。環境問題は地域の人と連携してこそ良い結果が出るのではないかと思います。一つの団体だけが頑張るよりも、皆で手を合わせて行こうと言うことが大切だと思っています。まずは青年会議所の方、他のクラブの方々と交流を深め、何かできないか模索して行きたいと思っています。今年度はまもなく終了しますが、来年に向けて私も携わって行きたいと思っています。

蔓延防止等重点措置のため、先が見えない状況です。来月の例会は9日と23日の2回は必ず行いますが、オンラインになるのかそれ以外かはまだ決まっていません。コロナの状況を見て、なるべく沢山の例会を開催したいと思います。

### オンライン例会

#### 点鐘

築城 忠生 会長

#### ロータリーソング

中止  
四つのテスト 萩原庸嘉会員

#### 司会

天野 耕一郎 幹事

### お客様

中村こずえ様/JC伊勢原理事長  
佐野 嘉一様/JC伊勢原専務理事  
野口 元様/JC伊勢原副理事長  
亀井 則男様/JC伊勢原プライディング委員会委員長

陸 易君/米山奨学生

### 今後の予定

- ・6/2 [第2704回] 休会
- ・6/9 [第2705回] オンライン例会
- ・6/16 [第2706回] 休会
- ・6/23 [第2707回] 未定
- ・6/30 [第2708回] 休会

### 幹事報告

#### ★ガバナー事務所より

RIバーチャル台北国際大会プログラムのお知らせが配信されております。

#### ★第7Gより

- ・I・M You Tube 動画配信のお知らせが届いております。
- ・I・M 記念品マスクが届いております。

### 出席報告

堀口雅巳/出席副委員長

会員数	出席計算に用いた数	出席者数	出席率(%)	前々回修正出席率(%)
52	49	24	48.97	なし
MAKE UP				
萩原庸嘉君→地区 現・次増強・会員維持委員会				
東 学君→地区 次年度クラブ幹事研修				
田村貴寿君→地区 次年度クラブ幹事研修				

### スマイル報告

磯崎貴史/スマイル委員長

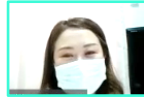
築城忠生君、天野耕一郎君、田中徹君、東学君、濱田勝彌君、吉川昌男君、荒巻哲朗君、飯田隆三君、堂前慶之君、土屋修君、加藤宗兵衛君、磯崎貴史君

### 委員会報告

本日はございません。

## お客様ご挨拶

### 中村こずえ様／伊勢原青年会議所 理事長



皆さん、こんにちは。本日は例会に参加させて頂き、ありがとうございます。日頃より、当青年会議所に多大なご理解、ご支援を頂きまして、この場をお借りして感謝申し上げます。伊勢原青年会議所は青年としての義務、責任を自覚し、進る情熱、限りなき英知、常に前進する勇気を持って明るい豊かな街づくりを理念に掲げ、志高き青年が集まり、1978年に創立されました。創立から43年が経ち、現在までに177名の会員を地域にお返しして来ました。伊勢原RCにも多くの先輩が活躍されており、我々現役メンバーの誇りと感じております。当青年会議所はこれまでに、大山駒事業など青少年事業や町おこし事業を行って来ました。今後も明るい豊かな町づくり事業を様々な視点から行って参ります。本年度はSDGsとグリーンインフラをテーマに伊勢原の環境と観光資源の掘り起こしを行う事業をメインに現在企画しております。伊勢原RCの皆様にもご支援を頂きながら進めて参りたいと考えております。

### 亀井則男様／伊勢原青年会議所 伊勢原ブランディング委員会委員長



本日は、貴重なお時間を頂きまして誠にありがとうございます。本年度の伊勢原ブランディング委員会はグリーンインフラ、SDGsの2つのテーマでやっております。担当例会は2月、6月、8月に行われます。本日はそれぞれのご説明をし、皆様のご協力を仰ぎたいと思っております。まず、グリーンインフラとは、緑を使ってインフラ整備をしようという考えです。2月にはまずグリーンインフラを学ぶと言うことで、三重県いなべ市の方を講師としてお招きし、講演をして頂きました。そして伊勢原として何が出来るかを考えました。6月開催では何か体験することが大事だと思い、大山にスポットを当てました。大山納め太刀事業が本来の姿になっていないことが地域の皆様からのお話でありました。そこで、企業と一緒に大山の観光地整備をしようと思っております。小田急電鉄様とも連携し、大山清掃活動をしようと思っております。他には放置竹林も問題になっており、滝に繋がる道にある竹をSDGsに則り、何かに利用できないかと言うことで、バンブーライト製作の体験も計画しております。この6月の体験を元に8月には集大成として、会のメンバーだけでなく伊勢原の行政の方や加盟する企業様をお招きしてディスカッションをさせて頂こうと思っております。グリーンインフラや環境整備は1年でできることではありません。今後もRCとJCのコラボレーションで継続して出来るような体制ができればと考えております。今後とも皆様の力をお借りしながら活動していきたいと思っております。

### 小山博正君／米山奨学生カウンセラー



来年度私が米山奨学委員会の委員長をやることになり、4月から1年間のカウンセラーに就任いたしました。当クラブでは、中国からの奨学生の陸易さんをサポートし、1年間様々な行事に参加していただくこととなりますので、宜しくお願いします。本日は残念ながらオンライン例会となったため、直接皆さんに会って頂くことができませんが、リモートで参加して頂いていますので、これから自己紹介をして頂きます。陸さんからは、是非例会にも参加したいし、行事にも参加して皆さんと交流を深めたいと言って頂きました。早くコロナが収束して通常の例会ができることを願っております。

### 陸 易君／米山奨学生(中国)

初めまして。陸易と申します。自己紹介をします。出身地は中国の江蘇省南京です。現在は東海大学教養学部人間環境学科社会環境課程の4年生です。豊かな社会の中で、様々な生活の質の問題が存在しています。環境、福祉、ビジネスの3つの問題が複雑に絡み合っています。この3つのキーワードを通じて、豊かな社会環境の実現に貢献できる人材を育成することが目的の学科です。今は4年生なので卒業論文を作成しています。私のテーマは「日中環境協力について」です。単に環境協力やODA援助だけではなく、自分の新しい発想によって、日本や中国の企業が海外進出する時にSDGsやCSRに注目しながら政府行政やNGOなど各種のルートを通じて一緒に環境問題を解決することができるかも知れない、という内容です。日本に来るまでの経緯は、まず高校の時に交換留学でドイツに行きました。その時に地衣類という植物の観察や調査をして大気汚染と経済発展の関係について調べました。今も環境と経済の関係について、関心を持って研究しています。ドイツでの研究結果を自国に持ち帰り、南京の地衣類の成長状況や、そのテーマについて研究しました。その後香港で日本留学試験EJUを受け、2017年に日本に来ました。コロナが始まる前から自炊をしていて、今では本格中華料理も作れます。趣味は車とバスケットボールです。東海大学のバスケット同好会に参加し、昨年は試合で3位になりました。家族は両親と自分の3人です。今後は大学院に進学し、環境と経済の分野で循環型社会をより深く研究し、日本で就職し、自分の研究を活用し、日中の環境協力を力を注ぎ、北東アジアの地域協力を実現し、日本と中国の協力関係に貢献したいと思っております。よろしくお願ひします。

